

記入例

【様式1】

年 月 日

B 充填所 御中

高圧ガス充填依頼書

【依頼者】

事業所名 **A社**

住 所

電 話

F A X

担当責任者名

印

赤枠実線内はA社が記入

下記の高圧ガス容器は、当社が所有する容器に間違いありませんので、充填してください。

なお、容器再検査の必要があれば、検査を依頼します。

充填に際しては、下表の1～3のうち、○印を付した条件とし、必要な費用は当社が負担するとともに、この件に関する責任はすべて当社が負います。

また、現打刻の登録記号番号 **〔例 H699〕** の登録者へ問い合わせをさせていただくことに異存はありません

例

1	現打刻の登録記号番号〔 <u> </u> 〕は変更しません。
2	当社取得の登録記号番号〔 <u> </u> 〕に改刻してください。
3	〇〇会社 の登録記号番号 [H6××] に改刻してください。

*該当する番号に○印を付してください。

記

例

ガス名	容器の記号・番号	登録記号番号	容器の取得経緯
酸素	ABC12345	H699	新品購入 ・中古品購入※・譲渡※・その他※ (※取得先等)
窒素	DEF67890	H699	新品購入・ 中古品購入 ※・譲渡※・その他※ (※取得先等 〇〇ガス)
			新品購入・中古品購入※・譲渡※・その他※ (※取得先等)

※容器の取得経緯の該当項目に○印を付してください。

※中古品購入、譲渡、その他の場合は、備考欄に容器の取得先を記入してください。

記入例

年 月 日

高压ガス容器充填可否確認書

K社 御中

(FAX: _____)

(TEL: _____)

赤枠実線内はK社へ送付する際にB充填所が記入

事業所名 **B 充填所**

住 所

電話、FAX

担当責任者名 (印)

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、貴社の登録記号番号 [例 H699] が打刻された容器への充填依頼が、弊社にございました。お手数ですが充填の可否につきまして、下欄をご確認のうえ、1～4のうち該当する番号を記入していただき、弊社までFAXで返信いただきます様、お願い申し上げます。

なお、充填の依頼者から、自己の所有である旨を記された書類をいただいております。 敬具

【連絡事項】 必要に応じて充填依頼者名、返信期限などを記入する。

【例】 A社から充てんのご依頼がありました。

年 月 日までに返信いただきますようお願い致します。

年 月 日

B 充填所 宛 [FAX 059-0000-xxxx]

下記の高压ガス容器に関しまして、充填の可否を連絡いたします。

ガス名	容器の記号・番号	容器種別 (内容積等)	充填の可否 下表の番号を記入
酸素	ABC12345	46.7ℓ、14.7MPa	2
窒素	DEF67890	40ℓ、19.6MPa	1

1. 充填不可	当社の所有容器につき、充填は不可です。
2. 充填可 【現打刻のまま】	当社が代理登録して、お客様に売却した容器です。 今後も当社が継続して登録の管理をします。 現打刻のまま、充填可です。(必要に応じて容器再検査を含む)
3. 充填可 【改刻のうえ】	当社が代理登録して、お客様に売却した容器です。 貴社の登録記号番号へ改刻していただいた後、充填可です。 それ以降の登録の管理は、貴社でお願いします。
4. その他	理由： 緑枠の点線内はK社が記入

【連絡事項】

事業所名 **K社**

住 所

電 話

FAX

担当責任者名 (印)

記入例

【様式3】

高圧ガス容器廃却依頼書

B社 御中

下記の高圧ガス容器に関し、その所有権を譲渡するとともに、必要な費用はすべて当社が負担しますので、廃却手続きを依頼します。

なお、本容器は当社の所有容器に間違いありませんので、現打刻の登録記号番号の登録者へ問い合わせをしていただくことに異存ありません。

この件に関する責任は全て当社が負います。

年 月 日

【依頼者】

事業所名 **A社**

住 所

電 話

F A X

担当責任者名

印

赤枠実線内はA社が記入

記

例

ガス名	容器の記号・番号	登録記号番号	容器種別（内容積等）
酸素	ABC12345	H699	46.7ℓ、14.7MPa
窒素	DEF67890	H699	40ℓ、19.6MPa
			合計 2 本

【様式4】

記入例

年 月 日

高压ガス容器廃却可否確認書

K社

御中

(FAX: _____)

(TEL: _____)

赤枠実線内はK社へ送付する際にB社が記入

事業所名 **B社**

住 所

電話・FAX

担当責任者名

印

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、貴社の登録記号番号 [例 H699] が打刻された容器の廃却依頼が、弊社にございました。お手数ですが廃却の可否につきまして、下欄をご確認のうえ、1～3のうち該当する 番号を記入していただき、弊社までFAXで返信いただきます様、お願い申し上げます。

なお、廃却の依頼者から、自己の所有である旨を記された書類をいただいております。

敬具

【連絡事項】 必要に応じて依頼者名、返信期限などを記入する。

【例】 A社からご依頼がありました。

年 月 日までに返信いただきますようお願い致します。

年 月 日

B社 宛 [FAX 059-000-XXXX]

下記の高圧ガス容器に関しまして、廃却の可否を連絡いたします。

ガス名	容器の記号・番号	容器種別 (内容積等)	廃却の可否 下表の番号を記入
酸素	ABC12345	46.7ℓ、14.7MPa	2
窒素	DEF67890	40ℓ、19.6MPa	1

例

緑枠点線内はK社が記入

1. 廃却不可

当社の所有容器につき、廃却は不可です。

2. 廃却可

当社が代理登録して、お客様に売却した容器ですので、廃却してください。

3. その他

理由:

【連絡事項】

事業所名 **K社**

住 所

電 話

FAX

担当責任者名

印